

# 議会だより



めざせ 東京オリンピック！（松島第一幼稚園運動会）

- ◇ 町長の考えを問う（総括質疑）… 5P
- ◇ 私はここが聞きたい！  
（決算審査特別委員会）…………… 8P
- ◇ 7人の議員が登壇（一般質問）…… 22P
- ◇ 町民の声…………… 32P

平成26年  
**第3回 定例会**  
[9月5日～9月19日]

歳入

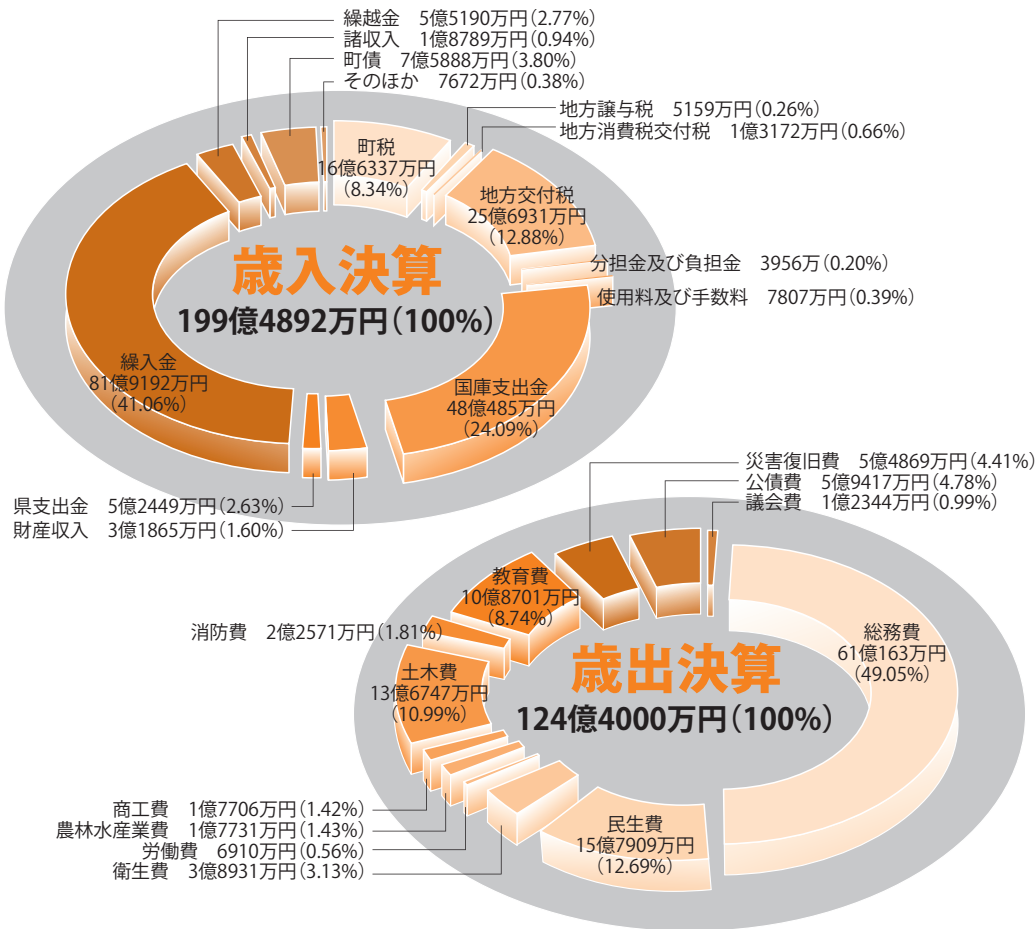
歳出

約200億

約124億

決算

## 一般会計決算



※構成比の数値は、四捨五入しているため、数の数値と合わない場合があります。

平成26年第3回定例会を、9月5日から19日までの会期で開催しました。提案された議案は、条例の一部改正、工事請負契約の変更、補正予算など16件で原案どおり可決しました。平成25年度各種会計の決算審査は特別委員会を設置して審議し、一般会計を含む9会計すべてを認定しました。一般質問では、7人の議員がそれぞれの視点から9件の質問をしました。

## 一般会計の地方債(借入金)と基金(預金)の状況

預金は4億

町民ひとりあたり 2.9万円

借金は60億

町民ひとりあたり 40万円

決算収支は**黒字**になりました。

項目	金額 (万円未満四捨五入)
基金(預金)残高	4億4297万円
地方債(借入金)残高	60億1624万円

※平成26年3月31日人口：15040人

歳入歳出差引額	75億892万円
①25年度の繰越事業	71億9990万円
②基金に積み立て	2億7000万円
③26年度への財源として繰越し	3902万円

# 最高額

# 早期復興へ

決算

## 平成25年度特別会計歳入歳出内訳

(万円未満四捨五入)

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	21億5177万円	19億3349万円
後期高齢者医療	1億8529万円	1億8427万円
介護保険	14億2780万円	13億7930万円
介護サービス事業	522万円	522万円
観瀾亭等	6712万円	5861万円
松島区外区有財産	155万円	122万円
下水道事業	15億930万円	13億7325万円

## 水道事業会計収支内訳

(万円未満四捨五入)

区分	収入	支出
収益的収支	6億35万円	5億7131万円
資本的収支	0円	6273万円

※水道事業会計の資本的収支に不足する6273万円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんした。

## 主にこのような事業に使われました。

事業名	支出額	内容
復興推進費	4億3961万円	復興交付金事業計画を作成し、町実施主体の25事業に対する復興交付金の配分を受け、まちづくり拠点施設整備事業や防災広場事業など各種復興事業を推進した。
仮庁舎整備費	6億9424万円	松島町役場仮庁舎が完成し、1月より業務を開始した。
敬老事業	560万円	敬老会を開催し長寿を祝福し、祝い金(88歳に達した方94人、99歳に達した方9人)を贈った。
子ども医療対策費	1491万円	平成24年10月受診分から、入院の対象年齢を7歳誕生日月から15歳到達年度末までに拡大した。対象人数は1388人。
集会施設集建設費	7062万円	高城コミュニティーセンターの建設に向けた業務を行った。
再生可能エネルギー導入事業	1億1034万円	保健福祉センター及び中学校、第一・第五小学校に太陽光発電装置・蓄電池設置工事または設計を行い、災害時などの再生可能エネルギーの利用が可能になった。
災害公営住宅整備費	9017万円	災害公営住宅の木造住宅が40戸→52戸に増えたことにより、12戸分に必要な用地(8筆)の取得等の業務を行った。
学校建設費(中学校)	2億2204万円	老朽化が著しく雨漏りの抜本的対策が急務となっていた中学校体育館について大規模改修を行った。また、教育環境の質的向上を目的に屋外運動場を建設した。
公共土木施設災害復旧費	3億8550万円	東日本大震災により被災した公共土木施設(漁港・河川・道路等)の調査、測量設計及び災害復旧工事を実施した。



役場仮庁舎



敬老会



太陽光発電装置(保健福祉センター)



松島中学校屋外運動場

# 監査委員が指摘

## 報告意見

### 特別一般会計

予算執行については、恒常の業務と多数の震災復興事業とが相まって過酷な状況下で事務処理の過誤が発生している。施政方針に盛り込まれた計画は、大部分の計画について年度内に実施すべき段階までは行われているが、震災復興事業においては、業者・資材・技術者等が不足したことから、多くの事業が繰越しとなっている。

復興を果たすためには、国・県及び関係機関並びに施工業者と緊密に協議を重ね、目標を達成していくことが望ましい。

東日本大震災復興交付金については平成26年7月現在、140億3486万1千円が国庫補助金等として配分されている。そのうち平成25年度には38億2716万6千円が交付され、東日本大震災復興交付金基金費として積み立てられている。繰越明許費及び事故



写真右から 清野監査委員  
菅野監査委員

繰越しを行っても事業完了せず再度の予算計上や交付金の返還等が生じてしまうことも懸念される等、困難な取り組みも予想されるので計画完遂への最大限の努力が望まれる。

国民健康保険特別会計は、財政調整基金から1億3799万2千円の取崩しをしているため、実質単年度収支においては1億4689万6千円の赤字となっている。今後とも収入未済額の減少に努め健全で安定的な財政運営を図ることが望まれる。

介護保険特別会計は、高齢化の進展に伴い介護給付費が増大するなか、介護予防対策を図るとともに、サービスの質の向上を図りながら介護支援が適正に受けられる制度を持続するよう望まれる。

下水道事業特別会計は、町債において、4%

以上の地方債9件を繰上げ償還し、新たに3億6390万円の借換債を行ったことにより、6889万8287円の利子軽減を図っている。復興事業においては、採択が認められた小石浜排水区のポンプ増設等の実施設計をしている。今後とも実施計画がスムーズに推進されるよう望む。

### 水道事業会計

25年度の企業会計は会計諸規則に則り作成され、適正に処理されている。財政状況については、流動資産の現金預金や受贈財産評価額の増、減債積立金を充てての企業債償還による自己資本金の増を図るなど、妥当とみられる。今後とも経営の合理化と効率化、未収金の対応等一層の努力が望まれる。

#### 監査委員

清野 精維  
菅野 良雄

## 町の財政状況は健全です

### 財政健全化判断比率・資金不足比率 (単位：%)

指標の名称	松島町の健全化判断比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	なし	15.00	20.00
連結実質赤字比率	なし	20.00	30.00
実質公債比率	9.2	25.00	35.00
将来負担比率	87.5	350.00	

### 資金不足比率 (単位：%)

会計の名称	松島町の資金不足比率	経営健全化基準
観瀾亭等特別会計	なし	20.0
下水道事業特別会計	なし	20.0
水道事業会計	なし	20.0

### ◇用語の意味

指標の名称	財政健全化を判断する指標の意味	家計に例えると(イメージ)
実質赤字比率	地方公共団体が赤字か黒字かを判断する指標。黒字であれば「なし」。	1世帯の1年間の収入と支出の結果で、赤字か黒字かを判定します。
連結実質赤字比率	地方公共団体がすべての会計を合算し、赤字か黒字かを判断する指標。	生計をともにする世帯で、1年間の収入と支出の結果で、赤字か黒字かを判定します。
実質公債比率	地方公共団体が年間の収入に対する借入金の返済額を表す指標です。	生計をともにする世帯で、1年間の収入と支出の結果で、赤字か黒字かを判定します。1年間の支出のうち住宅取得や自動車購入などの借入金があった場合、その返済額などがどれくらいの割合であったかが判定します。
将来負担比率	地方公共団体の将来支払うことになる可能性のある負担等の現時点での程度を示す指標。	生計をともにする世帯で、今後の住宅取得や自動車購入などの借入金の返済見込額と、預金の状況をもとに将来の負担がどれくらいの割合なのか判定します。
資金不足比率	資金不足比率は、地方公共団体の実質赤字に相当するもので、公営企業の資金の不足額が事業規模に対してどの程度あるかを示すものです。資金不足がなければ「なし」となります。	

# 町長の考えを問う

色川晴夫 議員

## 企業誘致は

**問** 企業誘致は何故できない。  
PR活動したとあるが、その効果のほどは。

**町長** 企業誘致に即効的な効果は出て来ない。可能性のある案件を幾つか持っているが、交渉段階のものは公にできない。

**問** 可能性の話は毎年あるが、どこにどうあるのかきこえてこない。調整区域などは開発が難しい。特区制度の活用は。

**震災復興対策監** 松島町は全町が都市計画区域であり、具体的な開発計画をもって県に協議しないと受け付けさえ拒否される環境にある。

特区は、税制等の優遇措置で開発の要件が緩和されるものではない。名古屋での企業誘致七

ミナーに参加しPR活動はしている。

**交通安全指導員の待遇改善を**

**問** 交通安全指導員の待遇改善を。  
定員25人のところ13人の隊員で年900回近くの街頭に出動している。他市町村と比べて安いようだが、消防団を含めてどう考えているか。

**町長** 定員不足は、議会と監査意見でも指摘されている。勧誘ポスターを出しているが、成果は上っていない。待遇の問題は、次年度考えなければならぬ。

## 松島保育所の今後は

**問** 松島最初の保育所に存続の危機強まる。松島保育所の充足率48・3%と定員割れが続いているが、存続してほしいが、検討はどうか。

**町長** 検討は始まっている

る。現在、国では3歳児から幼稚園の流れがあり、幼保一元化を含めて、ここ3年以内に一定の成果を出す必要がある。

## 松くい虫対策は

**問** 松くい虫の状況がひどい。

6月議会で指摘したが震災後2年間対策がとられなかった。特別名勝の松枯れが危機的状況である。対策は。

**町長** 大きな問題だとの認識はある。県に要望し、周辺自治体とも話をしながら全力を尽くしているが、追いついていない。今後大事な所から優先的に行っていく。



ホテル松島大観荘下の松枯れ状況

**問** 県の方への取り組みはどうなっている。

**産業観光課長** ホテル松島大観荘下の被害については、委託した森林組合と相談している。

JRを含め業者と検討しながら伐採できるようにしていく。

## 商工業は

**問** 商工業を取り巻く経営環境が本場に厳しい。役場移転がなされ、空洞化した高城町をどうみているのか。

**町長** 高城の状況は見てのとおり、認識は一緒と思う。活躍できる若い後継者の方々と多くの接触をもち、支援していきたい。

ワクワクカップリングパーティー等も支援し、見えるようにしている。

**問** 現状の中で、Aコープから薬王堂への東西線がメイン通りとなり、旧商店街はますますひどくなる。商店街がなくなり老人世帯が増え、買い物にもいけない町をどうするのか。委員会なり検討

する場が欲しいと思っただけでいい。

**町長** 新しい橋ができる

と野蒜方面から直接こちらに来れると、かつそれは高城の町に入るにも十分機能すると思っっている。高城の町のために悪くなるのではなく、より通りがよくなる。

また、若い人達で何種類かの委員会をつくっている。

## 文化観光交流館名称わかりにくい

**問** 文化観光交流館の名称は言いにくい。覚えやすい愛称の考えは。

**町長** 私もそう思っている。オープン時、よいと思った名前が訴訟沙汰になるといので取り下げた。

**問** そつ思うのであれば早急に変えるべきである。

**教育課長** 11月の町民文化祭までに「アトレル」(魅力ある)にして応募者に話をし庁舎内で一回整理を行い、その後議会に報告の上、町民文化祭に間に合せたい。

### 片山正弘 議員

#### 用地交渉は

**問** 避難道路整備事業で、用地交渉と推進状況等の見通しはどのようなか。

**町長** 大筋では進んでいる。27年、28年度全般となると難しい。そのため担当職員を増員した。

**問** 地権者への説明不足ではないのか。

**建設課長** 全体で一度終わっているが、交渉に時間がかかっている。高城町駅沿線は調査中で用地買収には至っていない。予算繰越と考えている。



高城町駅構内

#### JR東日本と協議を

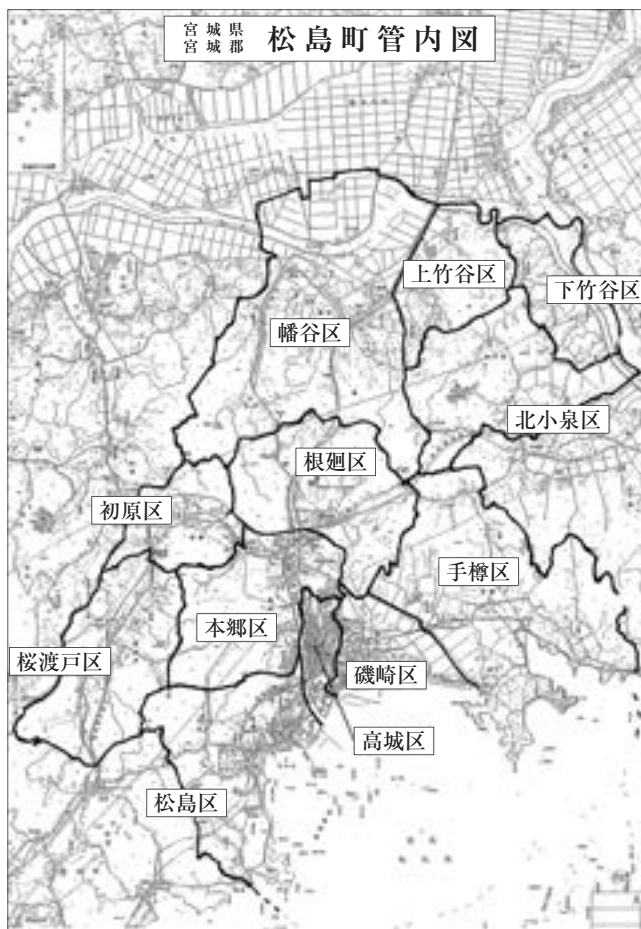
**問** 高城町駅周辺、不法駐輪、敷地内除草等について、JR東日本と対策について、協議すべきと思うか。

**総務課長** 過去に一回、高城町駅敷地内放置自転車について、協議しながら処理をした経緯がある。改めてJR側と相談をしたい。

#### 行政区格差はないか

**問** 行政区格差を見直すと、行政委員の選任方針、問題はないのか。本郷区、ほか行政区間で、人口・面積等に格差が生じてきているのではないのか。均衡のとれた地域づくりの観点から、見直し時期ではないのか。

**町長** 指摘のように新しい住宅地境界部分で問題点があると思う。今後も傾向が続き、地元の要望が出てくれれば対応が必要と思う。



#### 学区割は

**問** 行政区と学区について。  
**教育長** 学区については、一応明確に区割りと認識をしている。運用に問題はない。

**問** 行政区区域境に住居移転の場合、調整はできるのか。

**教育課長** 途中で住居移転の場合は、状況に応じて卒業まで、保護者の意見を踏まえ区域外就学も認めている。

#### 事務処理ミスの再発防止は

**問** 補助金申請、返還金等の処理について、監査報告でも指摘もあり、再発防止・趣旨徹底をすべきではないか。

**町長** 震災に伴い、業務量の増大や人員に問題があった。組織的に漏れのないように取り組んでいる。成果状況を見てほしい。

### 赤間幸夫 議員

#### 町長自らの評価は

**問** 平成25年度決算に対し、町長自らの評価は。

**町長** 震災3年目、震災復興事業も含め財政規模的には、通常50億ぐらいの規模を200億ぐらいでやってきており、建設関係、観光関係、企画・総務関係と結構盛りだくさんの中身で、成果は着実に出してきている。

#### 人員・組織に問題は

**問** 役場内の人員体制や組織体制は、支障なかったか。

**町長** 通常の業務プラス震災復興がすべての課に影響があり、人員的にも組織的にも、行政のスリム化の経緯で難しかった。

今後の課題として、職員採用も視野に来年度に向けて努力していく。

## どう反映する

**問** 決算を受け事務事業の分析、整理が27年度予算編成等にもどのように反映していくのか。

**町長** 事務事業の予算編成は事業計画に基づき、議会での質疑、町民の声、決算意見を基に所管課の確認を行い、優先順位を考慮し、予算枠の範囲で編成していく。

## 町民にどう伝える

**問** 決算概要の住民周知に創意工夫を。

**町長** 町民が求めることを常に頭に置き、限られた紙面や情報配信、懇談会の場での工夫した対応を考えて行きたい。

## 今野 章 議員

今後のシルバー人材センター

**問** シルバー人材センターの会員減少は、補助打ち切りなど憂慮すべき事態である。町の対応は。

**町長** センターも工夫し会員獲得に努力している。意義ある組織で支援もしたいが特効薬がない。会員が誘い合う事が一番ではないかと考える。

## 景気回復はしているのか

**問** 国の経済は回復基調と言ったが、町民感覚と違う。この認識では町民への諸施策にずれを生じるのではないか。

**町長** 経済のプロでもなく全体的な景気の話で、それに基づいて町政を進める。直接リンクするものではないと考えている。

## 絵画展はどうする

**問** 一月にアート・フル松島回顧展があった。松島の文化の発信としても重要と思うが、今後、絵画展はどうするのか。

**企画調整課長** 労力、コストなどを考え一旦休止とした。復活の検討中に震災が発生してしまっただが、再開する方向で考えている。

## いじめ対策は

**問** 学校での「いじめ」とその防止対策は。

**教育長** 子供たちの日々の反応・変化をまず教師がキャッチするという問題意識を持つことやスマホ等に注意喚起してきた。その結果、25年度は大きな「いじめ」の事象は聞いていない。

## 「いじめ」についての教育は、どのように行われているのか。

**教育長** 実際に「いじめ」を指導する時間は限られており、学級会で議論させ深めさせるとか、県教委での中学生のシンポジウムもあるが、一層の工夫が必要と認識している。

## 国保の軽減策は

**問** 国保制度は、命と健康を守る医療制度だが、負担が重く滞納も多い。国庫負担を元に戻すなど軽減策を講じるべきだ。

**町長** 国保は、基本的に国費や町費も入れたの独立採算という制度であり、その枠組みから離れることは出来ない。

## 原発対策は

**問** 地域防災計画は、女川原発で福島原発と同等の過酷事故が発生した場合のシミュレーションを行い策定すべきでは。

**町長** シミュレーションは行っていないが、ケースバイケースで検討し、町民の安全確保ができるような計画を策定したい。



アート・フル・松島回顧展

まめ知識

総括質疑とは

議会の会議に提出される案件を一括して質問し答弁を求める質問の方法。

# 私はここが聞きたい!

## ～決算審査特別委員会～



後藤良郎決算審査特別委員長

### 現体制で大丈夫

**赤間幸夫議員** 議会事務局は現在4名だが、その人数で対応できているのか。

**議会事務局長** 議会定例会等の近くは残業とはなるが、早く帰れる時は帰るようしている。

### 資金の出し方は

**赤間幸夫議員** 資金運用は会計管理者と町長部局が話し合いをして行っているのか。

**会計課長** 会計課で任せてもらって一番運用の状況のよいところで行っている。

### 投票所のバリアフリー化を

**今野章議員** 投票所でバリアフリーになっていないところの対応は。

**選挙管理委員会事務局長** 国や県の選挙の時の経費で対応していきたい。

### 投票率アップに工夫を

**今野章議員** 投票率アップのために商品券を配ってはどうか。

**選挙管理委員会事務局長** そういう考えはない。広報、啓蒙に本気で対応していく。

### 投票時間の短縮を

**小幡公雄議員** 職員の間外勤務手当削減の意味からも投票時間の短縮はできないか。

**選挙管理委員会事務局長** 町議選については、昨年の選挙で1時間終わりを早めた。国、県の選挙では公職選挙法の関係上、理由がなければできない。

### 投票所を増やせ

**櫻井靖議員** 華園などに投票所を増やすことはできないか。

**選挙管理委員会事務局長** 今の段階では増やす考えはない。投票しやすいよう場所を変えることはあり得る。

### 街灯の点検は

**色川晴夫議員** 街灯の電球が切れてしばらくたつところがあるが対応はどうなってるのか。

**総務課長** 区で管理しているものと町で管理しているものがあり、場所によって対応が遅れる場合

### 区長等報酬をどうする

**太齋雅一議員** 区長の報酬の値上げの要望を受けているがどう考えているのか。

**副町長** 区長会、消防団、交通安全指導員、消費生活相談員、民生委員等も含めて10月に会議を開き、来年度の予算へ反映させていく。

### 歩道の除雪対策は

**今野章議員** 役場が移動し動線が変わった。大雪が降ったときの国道の歩道の除雪はどうなるのか。

**総務課長** 道路管理者の国へ話をしていく。

### 不法投棄発見

**高橋利典議員** 町民が不法投棄を見つけた場合どうすれば良いか。

**総務課長** 町に一方いただければ、判断して対応する。

### 備えは大丈夫か

**赤間幸夫議員** 防災備蓄倉庫に設置されている発電機の定期点検はどうなっているか。

**総務課長** 区長等に数ヶ月に一度は点検をお願いしている。また、地区の行事等においても点検をかね使用していただいている。



決算審査の様子



## 消防法を守れ

**阿部幸夫議員** 消防法の関係で発電機の点検後方ソリンを抜くことになっているがしているか。  
**総務課長** はつきり確認はしていないが、周知徹底していく。

## 水族館の跡地利用は

**色川晴夫議員** 来年5月に閉館になる水族館の跡地はどうなっていくのか、県との話し合いはどのようになっているのか。  
**企画調整課長** 県との話し合いでは、跡地貸し出しについては公募するが、公募条件はまだ決まっていない。町としては、空白期間を生まないよう要望している。

## 復興基金はどこへ

**今野章議員** 災害復興基金の活用をどう考えているのか。  
**企画調整課長** 災害公営住宅入居者支援事業に使用せられてはどうか、平成32年度までにプレミアム商品券や定住事業などで使い切らせてもらう。

## 競争はないのか

**今野章議員** 最近の入札価格をみると99%、98%というのが多くなっているが、競争性がなくなっているのではないのか。  
**副町長** 入札不調、辞退が多くなっている。業者は積算ソフトを使って見積りを出しているのので100%近い価格となる

## 交通事故多発

**今野章議員** 最近、職員の公務中の交通事故が多いようだが対策はしているか。  
**財務課長** 事故を起こした方には疑似体験運転をしてもらっている。各課での安全運転について自覚をもって運転してもらうよう促していく。

## 仮庁舎の土地は何年契約

**高橋利典議員** 庁舎が建っている土地の契約期間は何年か。その期間の使用料は変わらないのか。  
**財務課長** 契約期間は10年となっている。3年ごとに見直しが行われることになっている。

## 無駄は困る

**阿部幸夫議員** 住民が住んでないような家にも税金等の督促状が配達されているようだが無駄ではないか。  
**特別滞納整理室長** 住民票を異動しない限り、送

らせていただいている。郵便物が戻ってきた時点で現地調査を行っている。

## 被災家屋の固定資産税は

**片山正弘議員** 震災で被災した建物で修繕された固定資産税の評価は今後どうなっていくのか。  
**税務班長** 被災家屋を調査し、被害に応じて減額で課税したが、27年度の評価替えにその見直しをする。

## シルバー人材センターの仕事を増やして

**阿部幸夫議員** シルバー人材センターへの町発注の仕事が年々減っているかどうか。  
**副町長** 町としてはシルバー人材センターに発注したいが、シルバー人材センターのほうで対応できないものが増えてきている。町があえてシルバー以外に発注を変えていることはない。

## 愛・らんど松島の代わりは

**太齋雅一議員** 愛・らんど松島が震災で加工施設がなくなり、加工品が滞っている状態だ。町として今後どう考えているのか。また、JAとの話し合いはされているのか。  
**副町長** 正式ではないが、移転予定の生協跡地を加工施設や人の集まる拠点にしたいということとをJAと話し合っている。

## 抵抗性松は有効か

**高橋利典議員** 抵抗性松の定着率はどのくらいか。  
**産業振興班長** 約25%で、定着率の低い理由として移植した周辺の雑木の思った以上の成長により日陰になったことが原因と思われる。

## 松食い虫対策は近隣と協力を

**片山正弘議員** 松くい虫は松島だけの問題ではない。近隣市町との話し合いを行うべきではないか。  
**副町長** 震災後休止していたが、今年実施する。



来年5月に閉館（松島水族館）



松島町シルバー人材センター



観瀾亭松島博物館

**観瀾亭松島博物館をどうする**

**櫻井靖議員** 観瀾亭松島博物館の傷みが激しいが今後するのか。

**副町長** 建て替えるか、大規模改修するか話し合いをしている。来年度は湿度調整など小規模の改修の予算化を考えている。

**ウォーキングトレイルの管理は**

アンテナショップ合同のキャンペーンを行う予定だ。

**副町長** 来年度以降、人事交流とかも考えていきたい。

**駐車場の無料化を**

**赤間幸夫議員** 松島公園管理の有料駐車場の再度無料化はできないか。

**副町長** 県に働きかけをしているが今の段階では非常に難しい。今後、石田沢を含め2ヶ所の駐車場がいきるのでそこは無料になる。その駐車場から観光地までの歩道等の整備を考えていきたい。

**倉敷市との今後は**

**色川晴夫議員** 今年7月に交流協定を結んだ倉敷市との今後の予定は。

**産業観光課長** 来年2月に東京に倉敷市が出した

**職員にも英語が必要**

**色川晴夫議員** 今後松島町の職員も英語の堪能な方の採用を考慮してはどうか。

**副町長** 自分で英語を勉強している職員がいる。来年度は英語に興味を持つている方を1名採用予定だ。

の排水が悪いため、予算等の準備も必要なので少々時間をいただきました。

**桜並木を守れ**

**太齋雅一議員** 幡谷の大友橋から明治潜穴までの桜並木の徹底した管理をしてほしい。

**管理班長** 直営でツタを切っているが、テングス病の剪定は2年に1度実施している。鳥による被害についても効果的な対策を検討しながら実施していきたい。

**水道料の未納対策は**

**阿部幸夫議員** 水道料の未納対策はどう考えているのか。

**水道事業所長** 停水サイクルを短くするか、徴収部分を民間委託するか、勉強させていただきたい。

**民生委員との協力を**

**片山正弘議員** 福祉タクシーの申請を通知だけでは遠慮してやっつけない方もおられるようだが、民生委員と協力しているの



ツタが絡みつく桜の木 (上幡谷)

か。  
**福祉班長** 町では民生委員に依頼していないが、民生委員のほうから持つてこられるケースはある。

**虐待を許すな**

**太齋雅一議員** 町民福祉課では異常な虐待行為などについて把握しているのか。

**福祉班長** 要保護児童対策協議会を設置し協議を行っている。その中で児童相談所にお願しているケースは4世帯である。

**国保を使わない人に記念品を**

**阿部幸夫議員** 国民健康保険を1年間使わない場合は、記念品を贈る仕組みを取り入れてはどうか。

**町民福祉課長** 過去に贈呈した経緯はあるが、現在にはしていない。これから実施するかは今の段階では言えない。

**児童公園水はけ対策は**

**今野章議員** 白萩児童公園に雨が降ると水はけが悪くなっているが対応は考えていないのか。

**建設課長** 白萩のほかにくぬぎ台においても公園

健康館はまだ受け入れ可能か

今野章議員

健康館の利

用者が増えている。これ  
からもどんどん増えてい  
くと思われるが、まだま  
だ受け入れは可能なの  
か。

健康長寿課長

24年度か  
ら土曜日も利用できるよ  
うになった。また定員を  
15名から、18名に増や  
している。しかし、これ以  
上は部屋の大きさから難  
しい。

チャペルヒルとの今後は

色川晴夫議員

アメリカ

チャペルヒルとの交流事  
業はどうなっているのか。

教育課長

財政と相談を

しながら、中学生を2年  
に1度、チャペルヒルに  
ホームステイさせてあげ  
たいと考えている。チャ  
ペルヒルからの来日は、  
原発事故の関係もあり当  
分難しいかもしれない  
が、今後交流できるよう  
考えている。

子供たちをを守れ

色川晴夫議員

子供たち

の出会い系サイトへの接  
続など指導はどうなっ  
ているのか。

教育課長

小中高の生活

指導連絡協議会の中で警  
察署の方から出会い系サ  
イト事件の概要を聞かせ  
てもらった。今後は、子  
供たちに対して警察、弁  
護士の方から出前講座を  
やっている。

学力テストは

今野章議員

松島町の全

国学力テストの考え方を  
聞かせてほしい。

教育長

松島の子供たち

は予想以上にがんばって  
いる。仙台管内では相応  
の評価を得ている。

不登校の対策は

今野章議員

不登校の子

供の取り組みと対策は。

学校教育班長

不登校の

子供に対して教員免許を  
持っている先生方に多数  
応援をいただいで一人一  
人に対応した支援事業を  
行った結果、現在、小学  
校では0名、中学校では  
9名と少なくなっている。

グラウンド管理どうする

赤間幸夫議員

運動公園

の野球場の水はけが悪い  
が改修はしないのか。

教育課長

震災後、地下

水がしみ出てきている場  
所がある。状態の悪いと  
ころもあるので早急に安  
全に利用できるよう進め  
ている。

給食費滞納どうする

今野章議員

給食費の累

積滞納をどうしていくの  
か。

教育課長

不納欠損とい

う考え方も含め、町長部  
局と協議をし、適切に処  
理をしていく。

百聞は一見に如かず

現地調査

決算審査特別委  
員会は9月11日  
(木) 船上より海  
鵜、ウミネコによ  
る松枯れの被害状  
況とJR仙石線陸  
前富山駅周辺の復  
興状況を現地調査  
した。

枯れた松に群がる海鵜



現在



震災当時



# 議会は進言する

## ○投票率の向上について

選挙において投票率向上を図るため、投票所のバリアフリー化の推進や投票率が低いと思われる30代、40代への啓発を積極的に進めるべきである。

## ○職員の研修について

職員の研修は様々な実施しているが専門職の資質向上のため、研修計画を作成し、計画的な研修と、より一層の受講機会をつくり業務に反映されたい。



チャペルヒル町

## ○マリニピア松島水族館の跡地利用について

官民連携による松島公園エリア等の面的再生等検討調査報告書にある松島水族館の跡地利用については、町としてしっかりとした対策を立て県に要望すべきである。

## ○要援護者支援システムについて

要援護者支援システムが導入されている。対象者1240名、同意者352名、同意率28・4%である。高齢者や障害者等を災害から守るためにより一層の推進を図ることを望む。

## ○松食い虫被害の防止について

町は、特別名勝「松島」地域内の森林の景観保持・保全のため、松くい虫被害の拡大防止を図っているが、計画どおりには進んでいない。

今回、湾内の現地調査を行ったが、被害の拡大については危機的な状況であると改めて確認したところである。松島湾を取り囲む他自治体との協議を含め、早急の対策を図りたい。

## ○観光客の誘客について

観光客数が回復しつつあるが、まだ震災前に戻っていない。松島の魅力を認識してもらうため、ハード・ソフトの両面にわたる受入体制を町を含め観光協会や観光業者等の協力を得ながら強化すべきである。また、外国人を含む観光客の誘客にも繋がるような通訳体制の充実とホームページの作成に努められたい。

## ○町道の草刈りについて

町道によっては草刈りを地域住民で行っているが、高齢化のため草刈りも大変な状況である。今後のことを考えると町が行っている除草範囲を拡大することを求める。

## ○チャペルヒル町との交流について

この2年間で15名の中学生がアメリカ合衆国ノースカロライナ州チャペルヒル町を訪問し、ホームステイ等を通して交流を行っている。ノースカロライナ州は、最先端科学を研究する大学の多い州である。今後は留学生の交流等も検討し、両町の関係拡大を図るべきである。

## ○決算書及び主要施策の成果説明書について

決算書及び主要施策の成果説明書については、より詳細に充実した内容の記載を望む。

# 議員提案で意見書提出

## 子ども子育て新制度を全ての幼い子どもへの育ちを支える制度とするための意見書

国は2015年4月から新制度を施行するとして、制度の実施主体である市区町村に対して、関係条例の制定など早急に施行準備を進めるよう求めている。いま求めているのは新制度の早急な導入ではなく、都市部における待機児童の解消や過疎地における保育の確保であり、被災地の保育所の復旧、復興である。よって、

国および国会においては、子どもの権利保障を最優先に地方自治体の実情を踏まえた上で、国と地方自治体の責任のもとに保育施策を拡充し、新制度を実施するよう以下の事項について強く要望する。

- 1、保育新制度の実施にあたっては、社会保障・税一体改革の確認書並びに、子ども子育て関連三法の参議院附帯決議に示された財源の確保を前提にすること。
- 2、新制度における公定価格は全ての子どもの健やかな育ちを保障するため、国の算定基準を示した「個別費目の積み上げ方式」とすること。
- 3、公定価格は施設・事業の安定的、継続的な運営が可能な設定とし、施設・事業ごとの単価に差をつけないこと。
- 4、子育て世代の負担軽減の意味からも保育料は現行水準から引き上げることせず、保護者負担の軽減を図ること。
- 5、保育の実施に責任を持つ市町村が計画的に待機児童対策を進められるよう、国として国

有地など活用や財政措置の拡充などの対策を行うこと。安心子ども基金については必要な財源を確保した上で継続し、対象・事業の拡充を図ること。

5、保育環境の整備、改善を図るため、新制度施行後も国と地方公共団体による現行の施設整備費の仕組みを維持すること。

6、保育の担い手であり、子どもの成長・発達を担う保育士が安定的・継続的に働くことのできる仕組みを制度上に位置づけ、民間の他職種と比較しても低すぎる保育士の処遇改善を図ること。子ども・子育て3法の国会での附帯決議を踏まえ、職員配置基準の見直しを図ること。

7、子ども子育て支援新制度の実施にあたっては、その実施主体である市区町村及び保育関係者、国民への説明を尽くし、その意見を踏まえた上で国として十分な協議を行い、性急な実施をしないこと。

### 〔提出先〕

衆議院議長 参議院議長  
内閣総理大臣 財務大臣  
厚生労働大臣

## 手話言語法(仮称)制定を求める意見書

手話とは、日本語を音声ではなく手や指、体などの動きや顔の表情を使う独自の語彙や文法体系をもつ言語である。手話を使う者にとって、聞こえる人たちの音声言語と同様に、大切な情報獲得とコミュニケーションの手段として大切に守られてきた。

しかしながら、ろう学校では手話は禁止され、社会では手話を使うことが制限されてきた長い歴史があった。

2006年12月に採択された国連の障害者権利条約には、「手話は言語」であることが明記されている。

障害者権利条約の批准に向けて日本政府は国内法の整備を進め、2011年8月に成立した「改正障害者基本法」では「全て障害者は、可能な限り、言語(手話を含む)その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と定められた。

また、同法第22条では国・地方公共団体に対して情報保障施策を義務付けており、手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子どもが手話を手

につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備に向けた法整備を国として実現することが必要であると考える。

よって本町議会は、政府と国会が左記事項を講ずるよう強く求めるものである。

### 記

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法(仮称)」を制定すること。

### 〔提出先〕

衆議院議長 参議院議長  
内閣総理大臣 文部科学大臣  
厚生労働大臣

一般会計決算認定

反対

今野 章 議員

安倍首相は、経済は回復軌道と宣伝し、再び医療や福祉、年金など社会保障の削減、消費増税、雇用ルールの破壊等を狙っている。景気回復感もなく、憲法クーデターのな解釈改憲、原因解明なしの原発再稼働と輸出など、強引な安倍内閣いいなりの町政には賛成できない。町長は暮らし、福祉など国・県に町民の声を届けるべきである。

震災から3年余、高城川堤防高上げなど復興事業も形になりはじめ、一層の被災者生活再建支援を期待する。また、臨時職員等の処遇改善、滞納整理機構への不参加、事務処理の過誤に対する防止策、難病の障害福祉サービス充実、草刈り・除雪の拡大。原子力防災計画はシミュレーションを。米価保障の具体策が検討されるべきである。

賛成

高橋 幸彦 議員

平成25年度の歳出における翌年度への繰越明許費は81億4982万円、事故繰越は3億4219万2千円と高額になっている。これらは多くが東日本大震災復興工事関連の事業であり、資機材の高騰等による入札不調などが原因と考えられるが、再度の予算計上や東日本大震災復興交付金の返還等が懸念されるなど、困難な取り組みも予想されるので、計画が完遂できるよう最大限の努力をと、監査意見書でも指摘されている。

職員不足のためか、事務事業の過誤や公用車の事故も多かった。

監査意見書や決算審査特別委員会からの意見書を熟読し、全町民が満足するような事務事業を全職員が遂行することを期待して、賛成の討論とする。

国民健康保険特別会計決算認定

反対

今野 章 議員

国保加入世帯の内、法定減免措置を受ける世帯は52%。所得段階別で所得0円が39%を占め、7割近くが所得100万円以下と加入世帯の多くが低収入である。

国保は、産業構造が変化し高齢化の中で、年金生活者や非正規労働者、失業者等の無職者の割合が高く収納率が低下する問題がある。これは国保が脆弱な基盤の上に成り立ち、公費負担で支えなければ成り立たない制度である事を示している。

ところが国はこの間、国民健康保険法を改悪し国庫負担額を様々な形で引き下げたため、国保運営は苦しく、加入者の能力を超えた国保税の負担を求める事となった。

町は、国に国庫負担の増額を求めるとともに重すぎる国保税の引下げを行うべきである。

賛成

高橋 利典 議員

国民健康保険特別会計について、健全な運営は収入未済額を減少させ、医療費給付の上昇を抑えることにあり、保険税収納の向上を目指し、徴収を粘り強く推進しながら、税源の安定的な確保を図ることが重要である。

平成25年度においては、保険税徴収対策として特別滞納整理室を中心に、税源確保に対する努力、住民基本検診や特定健診を始め、各種健康相談などによって、町全体で健康づくりのための予防対策が取られていることは評価する。

国民健康保険特別会計の実質収支額は2億1882万円の赤字で、その中から2億400万を基金に繰り入れた。国民健康保険事業が町民の皆様の大切な生命と健康を守るため、今後も堅持すべき医療保険制度である事を申し上げ、賛成の討論とする。

### 後期高齢者医療特別会計決算認定

反対

今野 章  
議員

2008年に創設されたこの医療制度では、収入がなくても75歳以上の全員に保険料が課され、2年ごとに見直され、75歳以上の人口と医療費の増加により保険料負担が上昇していく仕組みになっている。

制度導入当時の厚生労働省担当幹部は「医療費が際限なく上がっていく痛みを、後期高齢者が自らの感覚で感じ取っていただく」とその狙いを語っており、この制度は、年齢で医療内容を変化させる差別的医療制度であり、高齢者に我慢と犠牲を強いる冷酷な制度である。

このような医療制度は直ちに廃止し、国の責任を明確にし、安心して高齢者が医療にかかれるよう制度設計することを求めるべきである。

賛成

後藤 良郎  
議員

現在、社会保障と税の一体改革のための法整備や実施時期を定めたプログラムがある。

国民健康保険の運営主体を市町村から都道府県へ移管しようとしている。

後期高齢者医療保険制度については、国民健康保険制度との関連から、その動向が注目される。

このようななか、本町における後期高齢者医療保険制度に係る、平成25年度の事業運営は、宮城県後期高齢者医療広域連合との連携のもと各種申請の受付や保険料の徴収等について、適切に実施されたものと考え、賛成の討論とする。

賛成

反対

賛成



シリーズ

第3弾

# 未来へ向けて！ 特別委員会 は 進取の精神

特別委員会

東日本大震災復興対策特別委員会

委員長 阿部 幸夫

(要旨)

震災による復興状況の調査の中で、現在女川原子力発電所が停止している状態にある。ライフラインとしてかかせない電気の供給について、8月4日(月)に仙台火力発電所、新仙台火力発電所の調査を行った。

## 仙台火力発電所

仙台火力発電所は、津波により被災し、1年後の平成24年3月11日再開している。発電所出力2千kWで一般家庭600世帯分の年間消費電力量になっている。

仙台太陽光発電所のパネルは1万1072板使用し、出力は2380kWとなっており、メリットとして化石燃料を未使用のため、枯渇の心配がないこと。また、二酸化炭素の発生がないことである。デメリットとして、日射に左右され夜間は発電出来ない。広大な土地が必要であり、建設コストが高くなることである。

## 新仙台火力発電所

新仙台火力発電所は、津波により被災し、平成24年12月27日に一部運転を再開した。

電力の安全供給と、温室効果ガスの排出抑制を目的として、平成26年1月より発電効率の高いコンバインドサイクル発電設備の工事中である。これは、蒸気タービンとガスタービンを併用した発電内容で、発電出力98万kWで使用燃料はLNG(液化天然ガス)である。

LNG燃料は、二酸化炭素の削減につながる。とともに、1kWの電気を作るのに1/4の削減がはかられる内容になっている。

## (今後の活動)

今後の予定は松島町地域防災計画見直しについて、検証する予定である。



仙台太陽光発電所パネル



仙台火力発電所



新仙台火力発電所



# 議会活性化調査特別委員会

委員長 渋谷秀夫

平成26年8月8日(金)第2回目となる議会活性化調査特別委員会が開催された。

前回の特別委員会で協議事項となった「議会報告会実施要項」の施行を本日付と確認し、今後の予定、特別委員会にはかる検討事項などが協議に付された。

議会報告会実施要綱については、

- ・開催時期、場所
- ・報告内容
- ・編成、運営
- ・広報
- ・事前協議
- ・記事
- ・報告会
- ・報告会資料

などについて定め、今年度からの議会報告会から適用することに決定した。

次に、活性化調査特別委員会に諮る検討項目の協議が行なった。

その結果として、常任委員会の視察研修に係る旅費(費用弁償)や常任委員の任期、情報公開、政務活動費、議員報酬・委員長手当などを今後

の主な検討項目とすることで確認された。

なお、当日は費用弁償と常任委員の任期の項目に対し、協議が行なった。

常任委員会の視察研修に係る旅費(費用弁償)については、平成17年度に交通費部分で見直しがあり一万五千円程度下げた上限額に改められた。

今回は、消費税の値上げや交通料金の値上げ等があったことから、旅費に係る費用弁償相当分を含めた検討項目とされたが、各委員から多様な意見が出され、結論は持ち越した。

次に、委員の任期については、2年か4年かで議論になったが、この検討項目についても、委員会設置の目的とその達成度合により任期が判断されること等、今回での結論には至らなかった。

検討のための資料のまとめや詳細説明の有り方等委員の判断材料の必要性が課題となった委員会であったと思料する。

# 東北放射光施設誘致調査特別委員会

委員長 高橋幸彦

講話／「震災後、東北地域の  
新産業起こしの取り組み」

講師／鈴木康夫工学博士

宮城大学

地域連携センター教授

◇日時 平成26年8月8日(金)

◇場所 役場3階議場

◇内容 宮城県の食産業指数と同じバランスの新潟県を対比し説明を受けた。

震災後、宮城県の落ち込みは激しく、逆に新潟県の伸びの特色を参考にしたい。

震災後は、...

	宮城県	新潟県
(H24)		
食料品	627社、4,430億円	786社、6,475億円
流通	23社、96億円	88社、459億円
農業	9社、13億円	35社、1,704億円
中・小・包装	11社、1億円	48社、331億円
中産加工	245社、1,450億円	121社、1,357億円
工業	2,699社、3,428億円	5,695社、4,318億円

震災前の食品製造業の特徴、...


	宮城県	新潟県
(H19)		
食料品	884社、5,885億円	885社、5,867億円
流通	26社、87億円	87社、518億円
農業	6社、6億円	28社、1,392億円
中・小・包装	11社、2億円	53社、320億円
中産加工	450社、2,690億円	125社、1,267億円
工業	3,433社、3,828億円	6,734社、4,828億円

〈結論〉今が成長を企む時期  
・ハード面の特徴を出す。  
・バイオマスでまかなえないか。  
・次世代の農政が抜けている。と指摘された。

いずれ、期待したいのは..

東北の地を「ナチュラル・イノベーション」のメッカに!

象徴としての「東北放射光」



私感東北放射光について

〈結論〉東北の地を一次(ナチュラル)産業に付加価値を生み出す革新(イノベーション)のメッカに。

# 議案 審議

## 質疑者

阿部幸夫議員 赤間幸夫議員 澁谷秀夫議員  
 今野章議員 色川晴夫議員 片山正弘議員  
 菅野良雄議員 後藤良郎議員 小幡公雄議員

### 松島町営住宅条例の一部改正

#### 主な内容

災害公営住宅の建設が3月に完了見込みであるため華園団地と美映の丘団地を町営住宅に追加するものである。併せて中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法

律の一部改正に伴い引用する法律名と内容の一部改正を行うものである。

#### 質疑

阿部幸夫議員 条例に美映の丘団地の地番が「32番地ほか」と表記されているが、正確な地番表記をする必要があるのではないのか。



災害公営住宅（華園団地）

#### 建設課長

美映の丘団地のように数多くの地番が存在する場合は「ほか」で表記して問題ない旨を県に確認している。

賛成全員・可決

#### 財産の交換、譲与等に関する条例の一部改正

#### 主な内容

今年度に整備完了する災害公営住宅（52戸）において太陽光発電設備の屋根貸し事業を行うため行政財産の目的外使用をするので、条例の一部改正を行うものである。

#### 質疑

今野章議員 屋根貸し事業は県内19市町村で実施予定であり、県が宮城県全体を取りまとめ進めるようであるが、どのように発注されるのか。

#### 建設課長

県で一括発注となり、すべてを一箇所の事業者が請け負う形となる。

#### 今野章議員

一括発注に

なれば中央の大きな事業者が受注し、被災地事業者が受注できない可能性があるのではないのか。

#### 建設課長

公募はプロポーザル方式で実施し、地元企業の点数が高くなる採点方法を採用する旨の回答を県から得ている。

賛成全員・可決

#### 赤間幸夫議員

停電時には入居者が太陽光発電の電気を使用できるが、電気使用料の扱いはどのようになるのか。

#### 建設課長

発注時の仕様として停電時の無償利用を条件としているため、使用料については発生しない。

賛成全員・可決

#### 松島町母子・父子家庭医療費の助成に関する条例の一部改正

#### 主な内容

母子及び寡婦福祉法の一部改正及び中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部改正に伴い、引用する法律名と内容の一部改正を行うものである。

賛成全員・可決

#### 松島町心身障害者医療費の助成に関する条例の一部改正

#### 主な内容

中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部改正に伴い引用する法律名と内容の一部改正を行うものである。

賛成全員・可決

#### 工事請負契約の締結（松島運動公園多目的広場人工芝整備工事）

#### 主な内容

運動公園多目的広場人工芝整備の工事請負契約の締結にあたり議決を求めるものである。

#### ○契約金額

1億5768万円

#### ○相手方

長谷川体育施設株式会社

東北支店（仙台市）



人工芝張り替え工事（松島運動公園）

#### 質疑

色川晴夫議員 グランドの照明設備は2箇所では全体的に照らすことができないのではないのか。

#### 教育課長

今回の照明設備は、外周のランニング等の補助的な役割としての環境整備である。

賛成全員・可決

#### 工事請負契約の変更（二級町道根廻・品井沼線道路災害復旧工事）

#### 主な内容

法面復旧箇所について施工場所（現地）の精査により、法面工300㎡を減工するものである。

#### ○変更内容（契約金額）

変更前

5670万円

変更後

5392万6950円

#### ○契約の相手方

（株）佐々勝工務店

（松島町）

#### 質疑

菅野良雄議員 工事についてはJRを含めた関係者と時間をかけて協議をしているが、減工されるロックネット部分について工事着手前に施工が必要であることを判断で

きなかつたのか。  
**建設課長** 当該箇所につ

いては掘削しないと状況把握ができない状況であった。JR協議後に安全確保の仮設土留めをし、重機による掘削で状況確認する必要があったことから時間を要した。  
賛成全員・可決

**物品売買契約の締結(消防小型動力ポンプ付積載車購入)**

**主な内容**

松島町消防団第一分団消防小型動力ポンプ付積載車について、老朽化が著しいことから四輪駆動の小型動力ポンプ付積載車1台を購入するものである。  
○契約金額 784万800円  
○相手方 (株)共栄防災(仙台市)

**質疑**

**菅野良雄議員** 昨年購入した小型動力ポンプ車は二輪駆動であるが、なぜ新車両は四輪駆動としたのか。  
**総務課長** 様々な現場に対応できるように四輪駆動の車両を配備してほしい

旨を消防団より要望されている。  
賛成全員・可決

**一般会計補正予算(第4号)**

**主な内容**

平成25年度決算に伴う繰越金等について補正するものである。

●住民情報システム社会保障・税番号制度対応改修業務 1058万5千円

●旧高城公会堂解体事業 2260万円

●災害公営住宅入居支援事業 480万円

●予防接種事業(高齢者の肺炎球菌感染症及び水痘定期接種) 380万8千円

●町道内町線・内町支線道路整備事業 880万円

●屋外多目的運動場建設事業 1670万8千円

**質疑**

**色川晴夫議員** 災害公営住宅の申し込み整備戸数に満たない場合はどうなるか。  
**建設課長** 松島町の場合、

災害公営住宅はみなし仮設の入居者が優先的に入居をする。その後空き

住宅の募集を実施するが、災害公営住宅であるため申込者は全壊等の入居条件を満たす必要がある。なお、募集にあたっては町内の方を優先する。

**今野章議員**

マイナンバー制度は税金や社会保障等の個人情報为国が一括管理できるシステムになると推測される。事故による情報漏えいの心配があるのではないのか。

**町長** 情報漏えいに関する事故は心配されるが、情報漏えいをなくすための手立てや技術的対策を行う。

**討論**

**反対** 今野 章議員

平成27年10月から社会保障税番号制度(マイナンバー法)の導入に向けたシステム改修費が計上されている。個人情報報が簡単に集積され、漏えいの危惧のある制度を実現するための補正には反対である。  
賛成多数・可決

**国民健康保険特別会計補正予算(第3号)**

**主な内容**

平成25年度決算に伴う一般会計繰出金及び繰越金、平成25年度退職者医療交付金の確定に伴う補正にあたり財源である財政調整基金繰入金を減額するものである。  
賛成全員・可決

**後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)**

**主な内容**

平成25年度決算に伴う一般会計繰出金及び繰越金について補正するものである。  
賛成全員・可決

**介護保険特別会計補正予算(第2号)**

**主な内容**

平成25年度決算に伴う一般会計繰出金及び繰越金、平成25年度支払基金交付金の確定による補正にあたり財源である財政調整基金繰入金を減額するものである。  
賛成全員・可決

**観瀾亭等特別会計補正予算(第3号)**

**主な内容**

平成25年度決算に伴う繰越金について補正し、財政調整基金繰入金を減額するものである。  
賛成全員・可決

**松島区外区有財産特別会計補正予算(第1号)**

**主な内容**

松島区の前年度繰越金について補正し、松島区の区有財産へ積立てするものである。  
賛成全員・可決

**下水道事業特別会計補正予算(第4号)**

**主な内容**

平成25年度決算に伴う一般会計繰出金及び繰越金について補正するものである。  
賛成全員・可決

**子ども、子育て新制度** についての陳情

**(陳情者)**

宮城県保育園関係団体連絡会 会長 藤崎 隆  
全国福祉保育労働組合宮城支部 執行委員長 佐藤 博英

宮城県社会保険推進協議会 会長 刘田啓史郎  
宮城県保育園経営勉強会 代表 小幡 正子

塩釜地域社会保険推進協議会 代表幹事 齊藤 規夫

平成26年6月定例会で第2常任委員会に付託され、陳情審査が行なわれた。  
賛成多数・採択

**知的障害者福祉施設整備への財源措置を求める陳情**

**(陳情者)**

社会福祉法人あしたは福祉会 理事長 大沼 梅代  
松島町手をつなぐ親の会 会長 今野ゆう子

第2常任委員会付託  
継続審査(平成26年12月定例会まで)

平成26年 第2回  
臨時議会  
7月28日

# 町長・副町長の給与減額 補助金の未申請による

議案審議（臨時会）

松島町長等の給与に関する条例の一部改正

## 主な内容

平成25年国民健康保険高齢者医療制度運営事業費補助金の未申請に伴う本町職員に対する懲戒処分を厳粛に受けとめ、町の責任者として、1月分10%の町長及び副町長の給与を減額するものである。

## 質疑

**片山正弘議員** 処分について、職員分限懲戒審査会での審議内容と基準はどうなっているのか。

**副町長** 職員には、課長を通じ、メールには特に注意を払うよう伝達したにもかかわらず、昨年と同様なことになった。情報の伝達、決裁の仕方がまずかったということ、事務処理のあり方で、事務課長中心になって検討しなければという意見は出された。

職員に対しての処分表はある。12月の10%減給と厳しくしたことに反対はなかった。

**片山正弘議員** 今回の処分で金額はどれぐらいになるのか。

**総務課長** 基本給で計算し、職員4名で96万3430円。町長、副町長で14万8800円、合計11万2230円である。

**片山正弘議員** 今後の指導方法は。

**副町長** 行政のプロであり、初歩的なミスがあつてはプロとしておかしい。今後、班内のコミュニケーションを大事に会議とおし連絡態勢を強めていく。

**今野章議員** 今回の処分は重すぎるのでは。

**副町長** 今回と直接関係なくとも昨年もあった。今回は二重に間違いがあつたことによるものである。

賛成全員・可決

## 工事請負契約の締結

○白萩地区避難施設建設工事

契約金額  
1億5994万8千円

契約の相手方  
㈱内藤ハウス仙台営業所（仙台市）

## 主な内容

磯崎地区内に災害時に住民等の避難者を受け入れるため、避難施設の建設工事を行うものである。

## 質疑

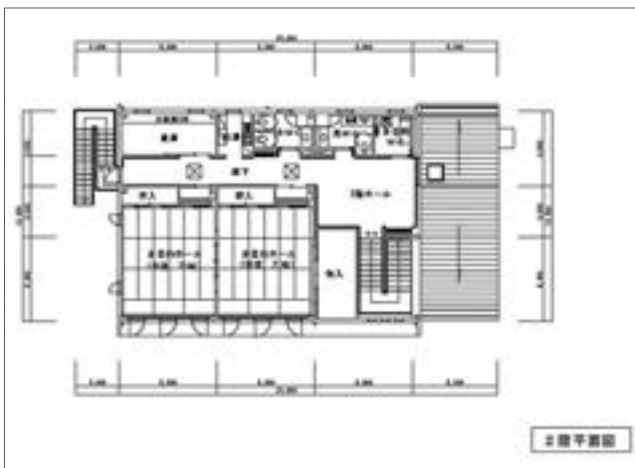
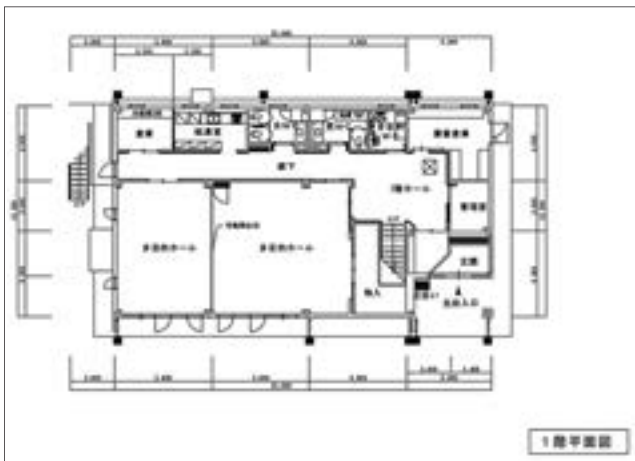
**色川晴夫議員** 今回白萩だが、他に松島・手樽に避難施設が計画されている。いつ工事に入るのか。

**危機管理監** 土地問題、敷地のかさ上げ等の外構工事や県との協議など要件がクリアしたのから建設に入りたい。

**色川晴夫議員** 白萩避難施設の入札金額が予定価格の81・1%と低い。震災後、入件費、資材高騰で95%以上で落札されている。追加補正などにならないか。

**総務課長** 増額になる場合、国から資材高騰で3割・5割以上超えた場合、対象となる。通知ない限り変更増はない。

賛成全員・可決



白萩地区避難施設平面図

○西行戻しの松公園避難場所整備工事

契約金額

2億1600万円

契約の相手方

(株)阿部土木(松島町)

主な内容

西行戻しの松公園内に災害時の住民や来訪者等の安全確保及び避難場所として利便性の向上に向けて、避難施設の建設工事を行うものである。

賛成全員・可決

○東浜地区避難場所整備工事

契約金額

7398万円

契約の相手方

(株)千葉蔭(塩釜市)

東日本大震災で津波被害を受けた松島地区を対象に、津波浸水区域の配水池に地域住民及び観光客等の安全の確保する避難場所の整備工事を行うものである。

賛成全員・可決

○松島第五幼稚園建設工事

契約金額

1億8252万円

契約の相手方

(株)橋本店(仙台市)

主な内容

松島第五幼稚園の園舎を建設し、健康でのびのびとした幼児教育ができるよう環境整備を行うものである。

賛成全員・可決



松島第五幼稚園完成イメージ

一般会計補正予算

主な内容

東日本大震災復興交付金第9回配分を含む。20億3912万2千円を追加し、歳入歳出予算が155億4882万8千円とする一般会計補正予算である。職員の懲戒処分を踏まえ町長及び副町長並びに総務課長の給与の減額することについての補正である。

質疑

色川晴夫議員

小石浜、間坂、碓田地区の県との調整は得たのか。

水道事業所長

小石浜沢川のかさ上げの実施設設計が間もなく上がる。そして発注と考えている。

賛成全員 可決

松島町国民健康保険特別会計補正予算

主な内容

一般会計の給料等減額相当分を一般会計より繰り入れるものである。

賛成全員・可決

松島町観瀾亭等特別会計補正予算

主な内容

観瀾亭で取り扱いをしている商品を敬老会の記念品とすることから、商品の仕入及び売上げ収入を補正するものである。

質疑

高橋利典議員

敬老会の記念品の内容は。

産業観光課長

松島らしい、五大堂の刺繍入りタオルのハンカチ3枚組である。

賛成全員・可決

松島町下水道事業特別会計補正予算

主な内容

東日本大震災復興交付金の第9回配分で、松島地区ほか磯崎、長田排水区の用地購入費及び派遣職員2名分の補正である。

賛成全員・可決

No.	事業番号・交付対象事業名	配分事業の概要	配分額等(対象事業年度:26年度)			
			配分額		申請額	
			事業費	交付金	事業費	交付金
①	No27:漁業集落防災機能強化事業(手檜地区)[直接補助分]	■補償費 電柱移転補償(銭神地区、大浜地区)	9,120	6,840	9,120	6,840
②	No37:磯崎漁港共同利用施設復興整備事業	■工事費 既存建物(旧力キ処理場)の解体撤去	20,910	15,682	20,910	15,682
③	No43:松島地区外下水道事業	■用地補償費 ポンプ場用地(磯崎地区) ■工事費 雨水ポンプ施設(普賢堂地区磯崎地区)	2,378,480	1,783,860	2,378,480	1,783,860
④	No26:漁業集落復興効果促進事業	①No27:漁業集落防災機能強化事業(手檜地区)[直接補助分]費の20%一括配分	1,824	1,459	-	-
合計			2,410,334	1,807,841	2,408,510	1,806,382

東日本大震災復興交付金 第9回配分

# 町政 Q & A

## 一般質問

ココが聞きたい

## 7人の議員が9件について質問

- 菅野 良雄** 議員 (22ページ) ・ 男女共同参画社会について
- 今野 章** 議員 (23ページ) ・ 眼科や耳鼻咽喉科など受診しやすい環境を  
・ 高齢者の移動支援について
- 色川 晴夫** 議員 (24ページ) ・ 大丈夫か！土砂災害対策、勇気をもって避難勧告を
- 後藤 良郎** 議員 (24ページ) ・ 納税しやすい環境づくりについて
- 櫻井 靖** 議員 (25ページ) ・ 町内のメンテナンスをどうするか  
・ 中学校にプールはいらないのか
- 高橋 利典** 議員 (26ページ) ・ 防災行政無線戸別受信機を各家庭に
- 赤間 幸夫** 議員 (26ページ) ・ わが町の近未来は、どのような姿に

ここは各議員の原稿をそのまま掲載しています。

一般質問

**問** 既に、男女共同参画に関する推進体制を整えている市町村もあるが、本町は。

**総務課長** 総数374人中女性94人で25・1%である。重複している人もいるので実数は72人である。

**問** 「婦人会と語る会」で意見を聴いてほしいので適切なところに女性を配置してほしいとの要望があった。審議会・委員会等の女性登用率は。

**総務課長** 具体的には整えていない。

**町長** ※アップ・ツー・デートは好きではないが、女性の登用は、日本社会が活性化していくためには必要とそのつもりである。

**問** 男女共同参画社会基本法は2020年度まで女性の登用率を30%まで促進しようとしている状況で、男女共同参画に関する計画を策定している市町村もある。町長の主導性を発揮してほしい。

**町長** 歴史の評価がどうなるのか気になるところだが、社会がそう動いているのであれば研究・検討課題である。

**問** 男女共同参画社会について  
**答** アップ・ツー・デートは好きではないが



菅野 良雄 議員

**問** 男女共同参画に関する条例を制定すべきと思うが。

**三知** アップ・ツー・デートとは、時勢に乗り最も新しいこと。また、そのさま。



婦人会との語る会にて「もっと女性の意見を」



今野 章 議員

**問** 眼科や耳鼻咽喉科など受診しやすい環境を

**答** 診療科目の開設は難しい

**問** 高齢になると眼科や耳鼻科を受診する機会が多いが、町内に院所がなく隣接市町に通院せざるを得ない。医療費と共に通院費もばかにならず、町内にこれらの診療科目があればという声があるが、町長はこのような声を把握しているか。

**町長** 小児科の話は随分あったが眼科、耳鼻咽喉科のお話は聞いていない。

**問** 本町にこれらの診療科目を開設する場合は、町が医師を探し協力を求めることになるが、初期投資や継続支援について検討する考えはないか。

**町長** 小児科で医療関係者と話した結果、医師の手配は難しいということであり、眼科等についても現時点で考えられない。



医療を身近に

**問** 開設への真剣な取組みが可能性を切り開くと思が、高齢者保健福祉計画での位置付けは。

**健康長寿課長** 町は仙台医療圏内で病院・病床も充足している。医師を選択し通院する時代で計画は難しい。

**問** 高齢者の移動支援について

**答** 研究はするが来年ではない

**問** 通院など高齢者等の移動支援に、東大チーム開発のオンデマンド交通システムを参考にしているかどうかと提案してきたが検討されたか伺う。

**町長** 費用をかけ調査していないが福祉タクシーもあり、今の町営バスを修正する必要はない。しかし、高齢化を踏まえより良い方向は研究したい。

**町長** 高齢化の中、拡充もあると思うが、今の段階で来年拡充するという事ではない。

**問** 移動支援として町やNPO等による福祉有償移動サービスもあるが、利用者の範囲が限定され広く高齢者が利用できない。規制緩和が必要と思うがどうか。

**町長** 事故等の責任など有償の運輸業でなければ成立しないと考える。

**問** 高齢化が進み長く歩くこと自体が困難という人が増える。現在の福祉タクシーの対象範囲では狭く、対象範囲を拡充する考えはないか。

一般質問



色川 晴夫 議員

問

大丈夫か！土砂災害対策、  
勇気をもって避難勧告を

答

その時の状況、ケース・バイ・  
ケースで適切に対応する

**問** 8月広島市で土砂災害により74名が死亡した。土砂災害防止法に基づき、警戒区域と特別警戒区域が指定された。松島町は何ヶ所あるのか。

建設課長

急傾斜地259ヶ所、土石流32ヶ所の合計291ヶ所である。そのうち調査済みが58ヶ所で25年度まで23ヶ所調査した。今後、住民説明会を行う予定。

**問** 大雨時に防災無線が全く聞こえない。その場合の「情報伝達をどうするのか」である。町長は防災無線で町民の声を聞いているのか。

一般質問

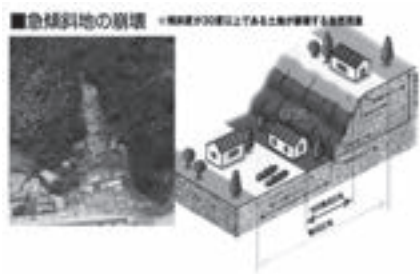
**ミニ知識**  
ケース・バイ・ケースとは  
あらかじめ方法をきめずに、個々の場合にに応じてそれにあつた方法で物事を処理すること。

**問** 避難勧告の判断は非常に難しい。町民の安全・安心のために勇気をもって避難勧告を発令すべき。

**町長** そのとおりと思うが、雨水と土砂災害では違うこともあり、\*ケース・バイ・ケースでの確な対応をしていく。

**問** 近隣市町村で活用している戸別防災無線を防衛省の補助で出来ないのか。

**総務課長** 防衛省の補助はない。



がけ崩れに対する区域指定のイメージ



後藤 良郎 議員

問

納税しやすい  
環境づくりについて

答

コンビニ納税については27年度  
から検討に入っていく

**問** 2市2町でのコンビニ納税の導入状況はどのようになっているか。

**財務課長** 多賀城市が平成19年4月、利府町が平成21年4月、塩釜市と七ヶ浜町が平成24年4月に導入している。

**問** 収納率アップと納税者の利便性から、コンビニ納税を取り入れている自治体が増加しているがこれをどう考えるか。

**町長** 利便性等を考えると理解はできる。しかし、今震災復興の途上であることや町の財務体質等もありタイミングを考えている。

**問** 収める側の立場からより収めやすい方法として、コンビニ納税はもう実施すべき時期に来ていると考えるが再度伺う。

**財務課長** 郵便局の窓口納付の要望もあるので、コンビニ納税と合わせて、平成27年度から具体的に検討に入っていく。



コンビニエンスストア





さくら い やし  
櫻 井 靖 議員

## 問 町内のメンテナンスをどうするか

答 完璧に把握出来ないが、町民に不自由をかけないように努力している

**問** 町として道路、下水道、公園等公共施設のメンテナンスをどう思っているのか。

**町長** 現状を把握しながら、町民の方からのご指摘あればできるだけ速やかに、正しくするよう努めているが、数が多く完璧に把握出来ない。町民に不自由をかけないように努力している。

**問** 海浜公園等のトイレが壊れているがずっとそのままなのか。

**建設課長** 海浜公園のトイレについては仮設トイレを置き対処する。他の公園のトイレは部品届きしだい修理する。

**問** 道路の陥没や公共物の修繕など町民がどこにどうやって相談すればよいかわからないのではないか。

**企画調整課長** 建設課とタイアップして広報していく。

**問** せっかく景観条例を制定しているのに海岸の国道沿いの歩道が草ぼうぼうで見苦しい。もともと国に強く働きかけるべきではないのか。

**建設課長** 要望はしているが、なかなか実現しない。国も認識はしていると思う。

## 問 中学校にプールは いららないのか

答 プールがいららないとは思っていない。  
心新たに取り組んで行く

**問** 町として中学校のプール使用をどう考えているか。

**教育長** 中学校にプールがいららないとは毛頭思っていない。

ていない。子どもの水の事故防止指導をふくめ、心を新たにして取り組ませる必要があると認識している。



松島中学校プール

**問** 中学校のプールが震災以来9月まで使えなかったのはなぜか。

**教育課長** 復旧工事が24年10月までかかった。25年度は震災で被災した生徒の心のケアのため行わなかった。26年度はプール内のサビ落とし等清掃に時間がかかり、9月からの事業再開となった。

**問** プール再開の通知が遅く、準備期間がなかったのではないか。

**教育長** これからは保護者に対する説明、町民に対する説明、プールのことに限らず、しっかりと浸透する期間を読みながら進めていく。



たか はし とし のり 議員  
高橋利典

一般質問

**問** 防災行政無線戸別受信機を各家庭に

**答** 今すぐの導入は難しい

**問** 防災行政無線はほとんどの町民の皆さんが聞き取りにくい、聞こえないと言っている。町の認識は。

**町長** 防災行政無線だけでなく、他の方法を使いながら、防災情報を伝える必要があると認識をしている。

**問** 戸別受信機が有効手段であるが、災害弱者を優先的に設置するのに、見守りシステムのツールがある。

**問** わが町の近未来は、どのような姿に

**答** 将来のまちをイメージし、次期総合計画に描いていく

**問** 現総合計画の中で、既成市街地や調整区域の土地利用推進に対し、町民の低い評価をどう見るか。

**町長** 町民懇談会などで指摘を受ける土地利用の問題は、都市計画法上のルールによる市街化調整区域内の行為に対する厳しい制限であり、個人レベルや単一自治体では難しい話である。

**問** 一般家庭用に安価に出来るFM再送信の方式での、戸別受信機設置はどうか。



あか ま ゆき お 議員  
赤間幸夫

**問** 保健・医療・福祉の連携のものと健康づくりや在宅福祉サービスなど高齢者支援体制の充実したまち、更には子育て環境の充実した若い人たちが定住できるまちをどのように描くのか。

**町長** 継続するまちづくりとしてソフト面の整備が必要であり、子育て環境や高齢者生活支援環境の充実したまちとして松島町に住んでいることが誇りであり、ほかからも松島町に来て住みたいと思われるまちを描く。

**問** 民間開発事業の推進と産業拠点形成の推進では、三陸自動車道のインターチェンジを生かした住宅団地や企業誘致計画が見込めるのでは。

**企画調整課長** 都市計画街路の根廻磯崎線の全線事業化が決定したことから本郷根廻地区の土地利用の可能性が高まってきている。

**問** 次期総合計画では土地利用、道路ネットワークなど市街化区域や調整区域を含むまち全体の姿をイメージしながら総合計画に反映していきたい。



まちづくり描き隊 facebookより



FM発信機と受信機

# 研修レポート 第1常任委員会

## 『6次産業化の取り組み』

本町の6次産業化の推進にあたり視察を行なった。

### (1)JA仙台 「たなばたけ高砂店」

出荷協力会の会員は、約600人であり、内松島町は28人という。

県内、農産物加工場が少なく、松島のタケノコも山形県で加工されている状況である。

JA仙台松島支店とAコープ松島店の建て替えで、加工場の新設が計画されているが、大量か少量多品種にするか検討し

て欲しい。

### (2)岐阜県東白川村 「村ぐるみ会社」

村が株ふるさと企画を設立(平成元年ふるさと創生1億円基金)し、農協、森林組合、商工会の連携に加え、村民が直接参加できるようにしているのが特徴。

次に、「農業振興の第

整備されると商品開発も向上すると思われる。

### (4)岐阜県大垣市 「農業ビジョン」

ビジョンは、規模も大きくすばらしいものであるが、「6次産業化推進事業」の支援も3団体にとどまっている。

しかし、地産地消の「芭蕉元禄朝市」を毎月2〜4回日曜日に開催し、他に7ヶ所で開催されているのは、力の入れ方の差が大きいと考えられた。

また、市民農園(15㎡/区画)、高齢者農園(20㎡/区画)を市が主導して貸し付けし、空きがないという。

現地視察した「名水わさび」は6次産業化を達成し、観光農園化を計画

中との事であった。

職員が特産品開発プロジェクトチームを発足させ厳格な基準の認定制度のもと、「輪之内ブランド」の開発に取り組み、17品目が輪之内スイーツとして認定されている。

一方、本町でも地産地消費実行委員会を中心に取組まれている、「まつの市」などイベントで販売される物があるが、加工場がないことが問題となっている。

今度、JAの加工場が

# 研修レポート 第2常任委員会

## 『地域密着型サービス』と『認知症あんしんネット』

### 『認知症あんしんネット』

平成27年度から始まる「改正介護保険制度」のもと、現在策定中の第6期介護保険事業計画にどのような影響が及ぶのか、安心して暮らし続けられる計画が必要と考え調査を行なった。

### (1)石川県加賀市

人口約7万人。高齢化率30・15%で要介護認定者数は3863人(認定率は18・07%)となっている。

「住みなれた地域で暮らしたい」との願いに応えるため、特別養護老人ホームなど大型施設の整備を止め、事業者に働きかけて施設を市街地に分割配置してもらう。その際、既存の建物を改修して再利用するなど、地域密着型サービスの事業所を圏域ごとに整備してきている。

さらに、登録制の24時間対応の定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所が13ヶ所に配置されている。

本町においても、日常生活圏域にバランスよく小規模多機能拠点及び地域交流拠点を整備し、介護給付や予防給付を身近な地域で受けられる環境を整えるよう望むものである。

認知症対応サービスの提供では、キャラバンメイトが各事業所及び地域包括支援センターに配置され、認知症支援対策に大きな役割を果している。

高齢化率33%となった本町は、地域包括支援センターの役割はさらに広く重くなる。町民が安心して暮らすことができる地域包括ケアシステムの構築を求めるものである。

### (2)富山県小矢部市

全国で支援を必要とする認知症の高齢者は2010年時点で約440万人を数え、65歳以上の7人に1人である。

認知症は家族や地域の正しい理解がなければ住

みなれた自宅等で生活していくことは困難である。

人口約3万1000人。「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」を目指している。

認知症支援事業の本質は、小矢部市が掲げる『認知症。どうもないちゃー!』にすべて言い尽くされていると思われる。

認知症に対し、理解者支援者を増やすことが大切である。

認知症サポーター養成講座を一般向けに行うだけでなく、地域や団体ごと(地域長寿会、議員、行政職員、女性消防団、ボランティア団体、J A 理美容組合、小学校、中学校など)に実施することは本町としても見習うべきである。



富山県小矢部市

# 研修レポート 議会広報 発行対策特別委員会

◇研修日時

平成26年7月10日(木)

～11日(金)

◇研修場所

東京・シエーンバツハ

サポール(砂防会館別館)

◇研修目的

新議会により、新人2人が委員となり、議会広報発行技術の向上のため。

◇研修内容

(1)「わかりやすい表現・表記のために」

表現の技術は、わかり

やすい文章を書くことで、

文章の区切りをはっきりさ

せること。読者を意識し

て作ることが大切である。

(2)「議会広報誌の編集

読まれる広報誌・読ま

れない広報誌」

誌面作りの基本となる

効率的(印刷コスト)ペー

ジ配分の学習が行われ

た。ベースは16ページと

教授された。

目次をどう作るか。見

出しと目次の仕掛けが必

要で、小見出しを多用す

るなど読んで欲しいとこ

ろを強調すること。見出

しは8文字以内がベスト

と教授された。

議会広報クリニックで

は、8町の議会だよりの

評価・分析を学習する。

◇所感

今回の研修では『編集にこれで良いというものはなく日々研鑽せよ』とのことであった。委員各位も今後の編集に一段の力を発揮されるものと確信した。



町村議会広報研修会



オープニングセレモニーの様子

## 中山町誕生60周年記念

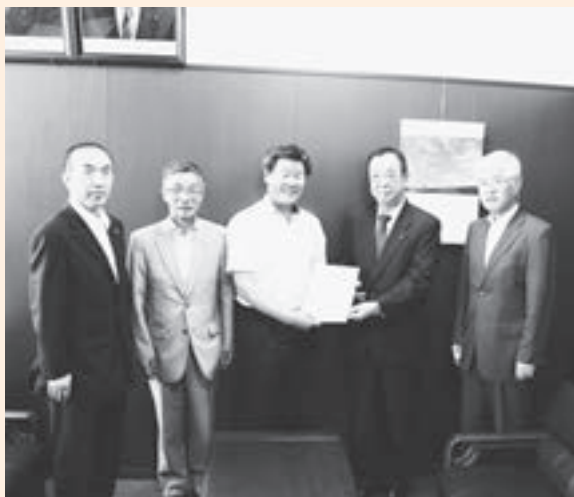
先般、松島町と山形県中山町の間で、災害時における相互応援に関する協定が結ばれた事に、中山町議会より、「元祖芋煮会」に案内を受け、7人の議員が出向きました。

## 平成25年度松島町教育委員会 教育行政点検評価の報告

主な内容

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、同法第27条の規定に基づき、各教育委員会においては、毎年教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定された。

本報告は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくため、もつと町民に信頼される教育行政を推進することを目的に、平成25年度における教育行政の点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものである。



平秀毅教育委員長より報告

# 一部事務組合議会ならびに広域連合議会報告

宮城東部  
衛生処理  
組合議会

塩釜地区消防事務組合議会

宮城県後期  
高齢者医療  
広域連合議会

吉田川流域溜池  
大和町外2市4ヶ  
町村組合議会

平成26年7月7日(月)、宮城東部衛生処理組合議会第2回定例会が開催された。

ごみの搬入状況及び容器包装リサイクル法の再商品化事業の状況、更に焼却灰・排出ガス・埋立地浸出処理水等の放射性物質濃度の測定結果が基準値を下回っている旨の報告があった。

なお、松島町は可燃ごみ・粗大ごみ等は前年同期より搬入量で増えている状況にある。

今定例会には、議案として利府町代表監査委員の宮城正義氏の選任についての議会の同意が求められ、賛成全員により選任された。

片山正弘議員  
今野 章議員

平成26年7月8日(火)、塩釜地区消防事務組合議会第2回定例会が環境組合と統合した初議会として開催された。

行政報告では、消防事務組合一般会計、介護認定審査事業特別会計、障害者自立支援審査事業特別会計、環境組合会計の4会計が黒字決算見込みである。

また、管内での火災発生件数は21件であり、松島町では6件の発生、救急出動件数は3412件で松島町分は367件、前年よりも43%の増加であった。

つぎに、平成25年度のし尿及び浄化槽汚泥処理の実績は、総量1万1454・75tで、前年度と比較すると309・91t、率で26%の減少であった。

一方、平成25年度の斎場の利用実績では、合計2042件であり対前年比で61件の減

少であった。

今定例会での議案審議では、議案19号に職員給与構造改革に伴い抑制された昇給の回復、議案20号に露店商による火災事件で死傷者が出たことを契機とする火災予防条例の一部改正、議案21号の松島消防署に配備した高規格救急自動車の更新の3件があり質疑のうえ、賛成全員で可決された。

また、一般質問では、火災の消火活動についてと女性消防署員の採用促進について2人の議員から質問が出た。

定例会終了後に斎場建設の検討経緯や候補地選定経過、今後の取り組みにあたって、近々、構成市町並びに議会へ説明が行われる旨の報告がされた。

赤間幸夫議員  
高橋利典議員

平成26年8月5日(木)、宮城県後期高齢者医療広域連合議会第2回定例会が開催された。

この定例会には7議案が提出されたが、主要案件は、本医療制度の平成25年度一般会計および特別会計の決算認定である。広域連合の運営費を主なものとする一般会計歳出は9億505万円となりその内、松島町は806万円である。

被保険者の保険料を含む市町村支出金の特別会計の歳出は、2318億9621万円となり前年比1・65%増となっている、松島町負担金は3億6472万4986円である。

以上の決算認定および補正予算・専決処分等について、定例会に提出された7議案は、すべて原案どおり可決された。

色川晴夫議員

平成26年7月28日(月)、吉田川流域溜池大和町外2市4ヶ町村組合議会第1回定例会が開催された。

平成25年度歳入総額は232万円、歳出総額204万円、繰越金27万円となり原案どおり可決された。

財産に関する調書(嘉太神溜池補修基金)は平成26年3月現在444万円の積立て基金である。

平成26年度の歳入総額は、1510千円とし、主なものは市町村の負担金であり、松島町4万5千円となっており、原案可決された。

嘉太神溜池の今後の事業がしめされた。

スケジュールは、平成26年11月受託決定後、平成27年28年までに実施予定である。

阿部幸夫議員

# 区長会との意見交換会

## 地区ごとの課題について大いにかたる

日時 平成26年  
9月5日(金)

代表して櫻井議長のあいさつが行われ、意見交換に入った。

意見交換会は、議会が平成26年度における議会活動を議会報告会として10月中旬から開始することに先立ち、行政区長会へあらかじめ報告会の持ち方等を意見交換という形で開催したものであり、区長会と議会から全員が参加した。

最初に議会から報告会開催の日程と、全行政区を三班体制で行われること、共通テーマとして議会に設置された特別委員会での活動状況報告に対する町民からの質疑を行うこと、更に行政区ごとの課題等に対する質疑応答も行うことと、フリーな意見交換に入る旨の説明を行った。

これは、課題解決に向けたシナリオがどのようになるのか、議会活動への期待としてタイムリーな情報提供が求められることや、町の特別職の非常勤の者の報酬見直し等が必要であるなど、意見が出された。

また、行政区ごとの報告会日程調整と、決定した日程における参集者案内に配慮願いたいことなどの確認が行われ、閉会となった。

## 陳情書

「松島町特別職の職員で非常勤のものとの報酬見直し」を求める陳情書

平成26年9月16日付で松島町行政区長会から議会に対し、左記のとおり陳情書の提出があった。

## 区長会からの陳情

様々あり、また報酬額についても月額、月額、年額がある。しかしながら、この報酬については、社会・経済状況の変化や各特別職の職務(仕事)内容等を鑑みながら、見直し等を行う必要があると思われる。

## 《要旨》

松島町特別職の職員で非常勤のものとの報酬については、長年、現在の報酬額であり、社会・経済状況の変化などを踏まえ、早急に「松島町議員報酬等審議会」を開催し、平成27年度当初予算へ反映されるよう議会としても町に対し求めていただくよう望むものである。

○陳情者

松島町行政区長会

会長 小畑隆保

## 《理由》

松島町特別職の職員で非常勤のものについては、各種委員会・審議会をはじめ消防団・交通安全指導員・行政区長など



勢揃いの区長会



活発な意見交換

# 平成26年第2回松島町議会臨時会 議案採決結果(平成26年7月28日)

全：賛成全員（可決・採択） 多：賛成多数（可決・採択） 否：賛成少数（否決・不採択）  
 ○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席 ※櫻井公一議員は議長のため採決に加わりません

## 賛成全員

議案番号	議案名	議決月日	議案番号	議案名	議決月日
議案第72号	松島町長等の給与に関する条例の一部改正について	7月28日	議案第77号	平成26年度松島町一般会計補正予算（第3号）について	7月28日
議案第73号	工事請負契約の締結について（白萩地区避難施設建設工事）	7月28日	議案第78号	平成26年度松島町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	7月28日
議案第74号	工事請負契約の締結について（西行戻しの松公園避難場所整備工事）	7月28日	議案第79号	平成26年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算（第2号）について	7月28日
議案第75号	工事請負契約の締結について（東浜地区避難場所整備工事）	7月28日	議案第80号	平成26年度松島町下水道事業特別会計補正予算（第3号）について	7月28日
議案第76号	工事請負契約の締結について（松島第五幼稚園建設工事）	7月28日			

# 平成26年第3回松島町議会定例会 議案採決結果

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	澁谷秀夫	赤間幸夫	櫻井靖	片山正弘	後藤良郎	小幡公雄	高橋幸彦	今野章	太齋雅一	色川晴夫	菅野良雄	高橋利典	阿部幸夫	櫻井公一	賛成	反対
陳情第1号	子ども、子育て新制度について	9月5日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	12	1
議案第84号	平成26年度松島町一般会計補正予算（第4号）について	9月8日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—	12	1
議案第91号	平成25年度松島町一般会計歳入歳出決算認定について	9月18日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—	12	1
議案第92号	平成25年度松島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月18日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—	12	1
議案第93号	平成25年度松島町後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月18日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—	12	1

## 賛成全員

議案番号	議案名	議決月日	議案番号	議案名	議決月日
議案第81号	松島町営住宅条例の一部改正について	9月8日	議案第96号	平成25年度松島町観瀾亭等特別会計歳入歳出決算認定について	9月18日
議案第82号	財産の交換、譲与等に関する条例の一部改正について	9月8日	議案第97号	平成25年度松島町松島区外区有財産特別会計歳入歳出決算認定について	9月18日
議案第83号	工事請負契約の変更について（一級町道根廻・品井沼線道路災害復旧工事）	9月8日	議案第98号	平成25年度松島町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	9月18日
議案第85号	平成26年度松島町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	9月8日	議案第99号	平成25年度松島町水道事業会計決算認定について	9月18日
議案第86号	平成26年度松島町後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第1号）について	9月8日	議案第100号	松島町母子・父子家庭医療費の助成に関する条例の一部改正について	9月19日
議案第87号	平成26年度松島町介護保険特別会計補正予算（第2号）について	9月8日	議案第101号	松島町心身障害者医療費の助成に関する条例の一部改正について	9月19日
議案第88号	平成26年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算（第3号）について	9月8日	議案第102号	工事請負契約の締結について（松島運動公園多目的広場人工芝整備工事）	9月19日
議案第89号	平成26年度松島町松島区外区有財産特別会計補正予算（第1号）について	9月8日	議案第103号	物品売買契約の締結について（消防小型動力ポンプ積載車購入）	9月19日
議案第90号	平成26年度松島町下水道事業特別会計補正予算（第4号）について	9月8日	議員提案第6号	子ども子育て新制度を全ての幼い子どもの育ちを支える制度とするための意見書について	9月19日
議案第94号	平成25年度松島町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月18日	議員提案第7号	「主語言語法（仮称）」制定を求める意見書について	9月19日
議案第95号	平成25年度松島町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について	9月18日			



佐々木 恵さん  
(初原)

## 心を一つにし、松島の復興を

復興支援のバスは激減し、普段の観光地に戻りつつあります。しかしながら震災の影響はまだまだ残るのが現状です。

朗報は、松島高校に観光科ができたこと、悲報は、松島の長年のシンボル水族館が来年5月に閉館することです。

急速な変化の中、島々に感謝し、世界に誇れる奇跡の町「松島」を守る。誰もがその大切さを身にしみて感じています。

松島の復興には、個々で出来ることと行政の力が必要なのがあります。松島を愛する心、それぞれの思いを今だからこそ一つにしなければなりません。

私は、町と議会に望みたい。手と手をつなぎ合わせる機会をぜひ作って欲しい。護岸工事が終了したあかつきには、松島灯籠流し花火大会の復活を！「松島に來たい！」と観光客が増えるまちづくりを！多くの人が同じ目的で同じ物を見つめ、皆が参加でき松島だからこそできる祭りを作っていただきたい。

松島町のスローガン「歴史・文化の継承と創造」をそのままに、松島人としての誇りを胸に、これからも自分の出来ることから力と知恵と心を尽くしてまいります。

10/10

## 秋田県にかほ市議会が視察来町



10月10日に秋田県にかほ市議会が、観光振興の取り組み並びに議会運営などの研修のため視察来町しました。にかほ市（旧象潟町）と松島町は昭和62年に「夫



婦町」の盟約を結び、様々な交流を続けながら、平成24年には締結25周年を迎えました。今後とも両市町の活発な交流が期待されます。



町のホームページから  
議会だよりが検索できます！

ホームページアドレス  
<http://www.town.matsushima.miyagi.jp/>  
議会Eメール  
[gikai@town.matsushima.miyagi.jp](mailto:gikai@town.matsushima.miyagi.jp)



## 議会からのお願い

議会だよりへのせる写真撮影のために、議員が出向きます。腕章をつけて行きますので、よろしくご協力をお願いいたします。

次回12月の定例会は  
**12月12日開催予定です。**  
ぜひ、傍聴においで下さい。

## 編集後記

9月議会始まる頃は秋の気配が漂いはじめ、日ごと稲穂が黄金色に実り議会終了20日頃には稲刈りの最盛期を迎え議会だより発行時は新米を食されていることだと思います。

10月の松島は、秋の味覚「カキ」の水揚げ、山々の木々も紅葉と美しい季節を迎えます。この夏、台風や豪雨により、各地で大きな被害を受けました。特に、広島の土石流により74名の方が亡くなられた自然災害の恐ろしさを改めて痛感させられました。これからが台風シーズンであり、災害に強いまちづくりを目指し、自助・協助・公助で互いに助け合い、避難する心がかえが大切であります。震災から、3年7ヶ月、復興事業も始まりましたが、まだまだです。議会において一日も早い事業が進められるよう、3つの特別委員会を設置しました。そのような中で、10月18日から11月22日まで町内12会場において議会報告会が開催されます。皆様の御意見、御要望を忌憚なくお聞かせ下さいますようお願い申し上げます。

議会広報発行対策特別委員会

- 委員長 小幡 公雄
- 副委員長 櫻井 靖
- 委員 色川 晴夫
- 高橋 利典
- 阿部 幸夫

(色川晴夫)



この広報誌は環境に優しい大豆油インキで印刷しています